

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第14回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第37回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第38回運営委員会（書面による）議事録
- ◇惑星科学ニュースレター第37号2001年3月15日

### ◇日本惑星科学会第14回総会議事録

開催日時: 2000年11月1日(日) 16:00~17:00

開催場所: 日本惑星科学会秋季講演会会場 (工業技術院筑波研究センター共用講堂)

出席者数: 117名(内委任状50名)

#### 1. 開会宣言

香内総務専門委員長より開会宣言があり、その後、倉本会員を議長に、田近会員を書記に選んだ。

#### 2. 議事

##### 2.1 第5期下期収支の中間報告

渡邊財務専門委員長より、以下の通り第5期下期収支の中間報告があった。全体的に、概ね予算通りに執行されているが、収入の部では正会員(一般+学生)会費の納入率がやや悪いようなので、学会員のご協力をお願いしたい。支出の部では、これから年度末にかけて、例年の支出項目に加えて、名簿の発刊、会長・役員選挙などでの出費の予定もある。

## 第5期下期(2000年度)中間収支報告書(2000年1月1日~2000年10月1日)

## I 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	執行額	備 考
会費収入	3,846,000	3,367,450	
一般会費収入	3,037,500	2,338,450	会費値上げ7,500円
学生会費収入	585,000	327,000	会費値上げ5,000円
賛助会費収入	450,000	400,000	
滞納分納入	211,000	302,000	422,000円のうち
当期分未収会費	△437,500	{	
学会誌出版事業費収入	80,000	36,760	遊・星・人
講読料	80,000	36,760	個人・機関講読
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	245,000	0	筑波
予稿集頒布収入	100,000	0	1000円/冊
参加費	145,000	0	1500円/学生1000円
雑収入	0	0	
寄付金収入	0	0	
雑収入	151,000	65,092	
受取利息	1,000	771	
その他の収入	150,000	64,321	学情入力等
当期収入合計(A)	4,322,000	3,469,302	
前期繰越収支差額	1,526,371	1,526,371	
収入合計(B)	5,848,371	4,995,673	

## II 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	執行額	備 考
学会誌出版・広報事業費	2,279,000	1,198,758	遊・星・人
印刷製本費	1,500,000	829,500	4回分・表紙
送料運搬費	180,000	103,840	著者分送料含まず
保管料	19,000	0	保管:委託事務
事務委託費	30,000	14,720	手数料:委託事務
備品費	250,000	250,698	ネットワークサーバ
諸謝金	300,000	0	サーバ管理
講演会事業費	495,000	11,000	
合同大会共催事業費	95,000	11,000	
送料運搬費	85,000	0	
会場費	10,000	11,000	運営委・総会会場
秋季講演会事業費	300,000	0	筑波
予稿集印刷費	120,000	0	
会場費	0	0	無料
消耗品費	50,000	0	受付用品他
諸謝金	120,000	0	学会受付者謝金含む
雑費	10,000	0	
夏の学校補助金	00,000	0	
管理費(委託事務関連)	1,280,000	515,576	学会事務センター
業務委託費	980,000	399,000	名簿作成分含む
送料運搬費	260,000	100,000	
ニュースレター送料	180,000	41,120	選挙公報・名簿
その他送料	80,000	58,880	会費請求
雑費	40,000	16,576	コピー・通信
管理費(事務局関連費)	510,000	53,550	
通信費	0	0	専用電話廃止
送料運搬費	32,000	0	会誌著者分他
消耗品費	30,000	0	ファイル他
印刷製本費	280,000	49,980	集録・名簿印刷
諸謝金	80,000	0	会長業務補佐
諸手数料	8,000	3,570	振込手数料
負担金	80,000	0	ドメイン取得料
雑費	0	0	
予備費	1,284,371	0	
当期支出合計 (C)	5,848,371	1,778,884	
当期収支差額 (A-C)	△ 1,526,371	1,690,418	
次期繰越収支差額 (B-C)	0	3,216,789	

## 2.2 第6期上期予算編成・執行方針

渡邊財務専門委員長より、以下の通り第6期上期の予算編成及び執行方針についての説明があった。

来年は、総会開催が合同大会時の6月初旬となる予定のため、予算執行上問題が生じる。一方、現時点での詳細な予算案作成は、まだ不確定要素が多く困難である。そこで、例年同様、今総会での来年度予算ガイドラインを審議・承認いただきたい。なお、正式な第6期上期予算作成は、このガイドラインに基づき第6期財務専門委員会が行なう。

### 第6期上期(2001年度)予算ガイドライン(案)(2001年1月1日～12月31日)

#### I 収入の部 (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
会費収入	3,600,000	3,846,000	
学会誌出版事業収入	80,000	80,000	機関講読分
秋季講演会事業収入	250,000	245,000	予稿集・参加費
寄付金収入	0	0	
雑収入	150,000	151,000	利息・学情入力
当期収入合計(A)	4,080,000	4,322,000	
前期繰越収支差額	1,280,000	1,526,371	
収入合計(B)	5,360,000	5,848,371	

#### II 支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
学会誌出版事業費	2,150,000	2,279,000	含むサーバ関連
講演会事業費	600,000	495,000	春・秋
管理費(委託事務関連)	1,200,000	1,280,000	学会事務センター
管理費(事務局関連)	250,000	510,000	
予備費	1,160,000	1,284,371	
当期支出合計(C)	5,360,000	5,848,371	
当期収支差額(A-C)	△1,280,000	△1,526,371	
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	

第6期上期予算編成・執行方針について挙手による採決を行ない、賛成117(内委任状50)、反対0、棄権0で承認された。

## 3. その他

### 3.1 日本惑星科学会第6期役員選挙について

惑星科学会の役員選挙について香内総務専門委員長より以下の通り報告があった。

役員選挙などの日程は以下の通りである。

- (1) 会長候補の推薦募集：2000年10月16日-11月10日
- (2) 役員(会長, 運営委員)選挙公示, 名簿発送：2000年11月15日-12月7日  
ニュースレター(名簿に同封予定)

#### 開票：12月8日(新会長, 運営委員12名決定)

- (3) 新会長は12月14日までに新役員(副会長, 会長推薦の運営委員8名, 専門委員長および専門委員)を選出
- (4) 運営委員会(書面)での新役員の承認：2000年12月15日-21日  
新役員決定：2000年12月22日  
会計監事候補者推薦：2000年12月22日
- (5) 会計監事候補者公示・信任投票：12月25日-1月24日  
ニュースレターで(選挙結果も)

### 3.2 合同欧文誌の状況について

合同欧文誌の発刊状況について佐々木委員より以下の通り報告があった。現在までのところ発行は順調である。しかしながら、惑星科学会会員の論文投稿数は少なく(年間10本程度)、理論系が多く物質系が少ないという傾向がある。会員の皆さんには、さらなる投稿の努力をお願いしたい。

### 3.3 学会事務の情報化プロジェクトについて

学会事務の情報化プロジェクトについて、林将来検討委員会委員長より下記のような提案があった。

現在、学会サーバの構築運営をボランティアベースで進めているが、ネットワーク技術の進歩とセキュリティ対策コストの増大にともない、早晚、ボランティア運営がいきづまることが想定されている。同時に、セキュリティ対応に関連し、宇宙研等特定組織内に当該組織とは直接的関係のない組織のサーバ設置を許容してもらうこと自体が困難になりつつある。一方、事務処理、雑誌編集までふくめた学会運営の情報化は避けることのできない緊急課題であることには変わりがない。そこで、定常安定運用可能なサーバを探し、同時に、事務処理全体のIT化を進めていくべく、次のような提案を行う。

会員管理、メール管理、会費徴収等、現在学会事務センターに委託している業務とボランティアベースで運営しているサーバ機能(WEBとMail List, 講演会登録・広報)を結合統合し、総体として外注委託を行うことを推進する。2001年度1年間を実験期間として、外部ネットワーク企画会社と惑星科学会との共同開発企画として学会事務のIT化を試み、2002年度以降本格運用を目指す。惑星科学会会員諸氏には、開発実験に協力していただくことをお願いする。具体的にはWEB上での登録(データ入力)、Mail Listのテストが想定されている。また、開発費を捻出するための企業スポンサー等の導入とメールによる広告実験を試みる。

この提案に対し、(1) 会員名簿を業者に売ることになるのか、(2) 企業はある日倒産するかも知れない、(3) 広告の内容は検閲した方がよいのではないかと、などの質問が出されたが、それらに対しては、(1) 名簿はあくまでも学会で管理する、(2) 委託業者が倒産した場合には学会事務センターに戻る、(3) 広告の検閲のために広報担当をつくる、ということに対応したいと考えているとの回答があった。

### 3.4 来年度の秋季講演会予定

来年度の学会予定について、香内総務専門委員長から以下の報告があった。

来年度の日本惑星科学会秋季講演会は、2001年10月6日-8日に岡山理科大学で開催される予定である。

### 3.5 科学研究費細目について

科学研究費細目見直しに関して、香内総務専門委員長から以下の報告があった。

日本学術会議において、科学研究費の細目の見直しが議論がされている。地球物理学研連惑星科学専門委員会ではそれに対応するため、惑星科学専門委員会内にワーキンググループを設置して申請件数・採択率などの基礎データを収集する方針である。具体的には、惑星科学会会員に対して科学研究費の申請状況に関するアンケートを行うことを検討しているの、アンケート実施の際には協力して頂きたい。

## ◇日本惑星科学会第37回運営委員会議事録

日時:10月31日(火)17:30-19:30

場所:地質調査所本館110号室

出席:村江, 山本, 林, 渡邊, 田近, 香内, 佐々木, 向井, 井田, 福岡, 中村, 阿部, 高木, 倉本, 堀内, 水谷  
欠席(委任状あり):中澤, 土山, 渡部, 並木, 比屋根, 大谷, 藤原オブザーバー:寺蘭, 蛭川, 春山

### 報告

#### 1. 遊星人の発行状況

井田編集専門委員長から、「遊星人」の発行状況について、順調であるとの報告があった。

#### 2. 合同欧文誌

佐々木欧文誌専門委員長より、合同欧文誌EPSは順調に発行されている旨の報告があった。惑星科学分野、特に、惑星物質科学分野からの投稿が少ないので、一層の投稿をお願いしたい旨の要請があった。それに対して、論文の投稿から受理までの時間が長いので改善して欲しい旨の注文があった。

#### 3. 2000年秋季講演会

春山オブザーバーより、2000年秋季講演会の準備・進行状況、予算等の報告があった。さらに、次年度の秋季講演会への引継等で検討を要する問題点がある

ことが指摘された。

#### 4. 2001年の合同大会運営

阿部対外協力専門委員長から、合同大会の運営機構が動き始めたこと、プログラム委員の選出がなされたことの報告があった。なお、合同大会の開催日程は2001年6月4-8日に決定された旨の報告があった。

#### 5. 日本惑星科学会情報サーバ

林将来計画専門委員長および寺蘭オブザーバーより、日本惑星科学会情報サーバ設置に関して、その背景、経緯、現状、および今後の予定についての報告があった。

#### 6. 第32, 33, 34回運営委員会

香内総務委員長より、第32, 33, 34回運営委員会(書面による)の議事および第6期役員等選挙の日程が報告された。(遊星人Vol. 9, No. 1, p56; Vol. 9, No. 2, p121参照)

#### 7. 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会惑星科学専門委員会

香内総務専門委員長より、惑星科学専門委員会の議事に関する報告があった(詳細は惑星科学専門委員会議事録参照)。

**議事：**

運営委員会の成立を確認後、議事に入った。

**1. 入退会者について**

香内総務委員長より、前回運営委員会以後の入退会者案が提案され、提案通り了承された。

**2. 第5期下期中間報告**

渡邊財務専門委員長より、第5期下期収支の中間報告があり、おおむね予算どおりに執行されている旨の報告があった(詳細は総会議事録参照)。

**3. 第6期上期予算ガイドライン**

渡邊財務専門委員長より、第6期上期の予算編成および執行方針についての説明があり(詳細は総会議事録参照)、ガイドライン案が原案通り了承された。

**4. 2001年秋季学会講演会開催地**

2001年秋季学会講演会の開催候補地について議論し、岡山理科大学で2001年10月6-8日に行うことが了承された。

**5. 役職用アドレスの設定**

林将来計画専門委員長および寺蘭オブザーバーより、惑星科学会の新サーバに、会長、副会長、専門委員長等の役員のメールアドレスを設定することが提案され、了承された。

**6. 「将来惑星探査検討グループ」の設置**

向井委員より、次のような性格の「将来惑星探査検討グループ」を惑星学会内に設置し、将来の惑星探査に関する議論を継続的に行っていきたい旨の提案があった：

- (i) 将来惑星探査にかかわる情報を集めて学会員に知らせる。
- (ii) 若く、大胆な探査提案を学会の場で公開してもらい、学会としてこれらのミッション提案をじっくりと評価・検討する機会を作る。

(iii) 将来は、様々な探査プロポーザルを評価・サポートし、実行機関へ持ち上げていく。

この提案をもとに議論し、将来計画専門委員会の下部組織である「部会」として「将来惑星探査検討グループ」を設置することが承認された。

**7. IUGG 2003への資金援助**

山本会長より、IUGG2003年総会組織会から、2003年IUGG札幌大会準備活動支援要請があったことが紹介された。引き続き議論し、当学会の財政状況を考慮すると、財政面での当学会からの支援は困難であるとの結論に達した。その分、プログラム委員会などサイエンス面での協力は惜しまないことが確認された。

**8. 学会事務情報化プロジェクト**

林将来計画専門委員長より、学会事務の電子化の現状と将来展望が紹介された。それをもとに議論を行い、以下のような方針で検討を進めることが了承された。

- ・惑星科学会程度の予算規模の小さな学会で、どの程度事務の電子化が可能なのかについて、技術的および経済的側面から検討する。
- ・実際には民間企業と共同で実装実験を行うことにより、商業的に実用化が可能かどうかを検討する。
- ・年内に、会員登録変更抹消システムと、WEB、MLの大枠を立ち上げることを具体的な目標とする。(詳細は総会議事録参照)

## ◇日本惑星科学会第38回運営委員会(書面による)議事録

期 間：2000年12月15日(金)～12月21日(木)

議 題：第6期役員等の選出

運営委員(出席者)：水谷 仁, 阿部 豊, 井田 茂,  
大谷栄治, 倉本 圭, 香内 晃, 佐々木晶,  
田近英一, 中村昭子, 林 祥介, 向井 正,  
山本哲生, 渡邊誠一郎, 荒川政彦, 福岡孝昭,  
春山純一, 寺藺淳也, 中澤 清, 安部正真,  
渡部潤一, 渡部重十

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出  
席とみなした

オブザーバー：藤原 顕, 並木則行(議題1が認めら  
れると運営委員になる方)

## 報告

## 1. 役員等選挙結果

第6期役員選挙 選挙管理委員会

日本惑星科学会会長選挙結果

投票総数 87 [有効票87, 白票0, 無効票0]

得票数

1. 水谷 仁 79 次 山本哲生 2 散票 計6

以上により, 第6期会長として水谷 仁会員が選出  
された。

日本惑星科学会運営委員選挙結果

投票総数 1044 (投票総数87×12名連記)

[有効票896, 白票148, 無効票0]

得票数

1. 香内 晃55 2. 井田 茂51 2. 阿部 豊51  
4. 渡邊誠一郎47 4. 佐々木 晶47 6. 林 祥介43  
7. 倉本 圭42 8. 田近 英一38 8. 向井 正38  
10. 中村 昭子30 11. 大谷 栄治30 12. 山本 哲生29  
次 藤原 顕25 並木 則行24 渡部 潤一24  
中澤 清24 土山 明20 比屋根 肇18  
散票 計260

以上により, 第6期運営委員として1～12の会員が選  
出された。

## 2. 会長選任による運営委員

上記開票結果および会則第12条3項により以下8名の  
運営委員が会長によって選出された。

運営委員：安部正真, 荒川政彦, 寺藺淳也, 中澤 清,  
春山純一, 福岡孝昭, 渡部潤一, 渡部重十

## 3. 専門委員会委員長

上記開票結果および会則第12条4項により各専門委  
員会委員長および部会長が会長によって選出された。

## 2-1) 総務専門委員会

荒川政彦

行事部会：

春山純一

## 2-2) 財務専門委員会

渡邊誠一郎

## 2-3) 編集専門委員会

井田 茂

## 2-4) 将来計画専門委員会

林 祥介

情報化検討部会：

寺藺淳也

将来惑星探査検討グループ：

並木則行

## 2-5) 対外協力専門委員会

阿部 豊

学会連合等部会長：

倉本 圭

## 2-6) 欧文誌専門委員会

中村昭子



**議事**

1. 会則第12条2項により、会長によって選出された下記の副会長が承認された。

副会長 山本哲生, 林 祥介

なお、これにともない、藤原 顕および並木則行会員が運営委員に繰り上げられた。

2. 会則第12条5項により、会長によって選出された下記の各専門委員会委員が承認された。

2-1) 総務専門委員会

福岡孝昭, 香内 晃

2-2) 財務専門委員会

榎森啓元

2-3) 編集専門委員会

委員会の特殊性を考え第5期の委員会構成を引き継ぐこととした。

城野信一, 荒川政彦, 飯島祐一, 加藤 工,  
北島富美雄, 木村 眞, 倉本 圭, 小林憲正,  
小林直樹, 佐々木晶, 高木靖彦, 高田淑子,  
田近英一, 中村良介, 平田岳史, 松島弘一,

米田成一, 渡部潤一

2-4) 将来計画専門委員会山中大学

北村良実, 小島秀康, 小林憲正, 土山 明,  
渡部潤一, 坂本尚義, 石渡正樹, 春山純一,  
伊藤孝士

情報化検討部会:

伊藤孝士, 大竹和生, 安部正真

将来惑星探査検討グループ:

向井 正, 春山純一, 矢野 創, 中村良介

2-5) 対外協力専門委員会

田近英一, 宮本英昭

2-6) 欧文誌専門委員会

佐々木晶, 比屋根肇

3. 下記の部会の設置が会長より提案され、承認された。

総務専門委員会のもとに行事部会を、将来計画専門委員会のもとに情報化検討部会をおく。

4. 会則第12条6項による監事候補者の選出を行い、村江達士および中川義次会員が選出された。

## ◇惑星科学ニュースレター第37号2001年3月15日

[日本惑星科学会]

事務局

◇日本惑星科学会第6期会計監事選挙結果

日本惑星科学会第6期役員選挙選挙管理委員会

2000年12月25日～2001年1月24日に会計監事候補者の信任投票を行い、下記の監事候補者が信任された。

村江達士 (九大・理), 中川義次 (神戸大・理)

編集責任者: 水谷 仁

発行者: 日本惑星科学会 事務局

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会